

ステップ・アップ

山口県下関市富任町 6 丁目 18 番 18 号
TEL: 083-258-0338
FAX: 083-259-8876
ホームページ: <http://www.mizunoki.jp>

水の木会 検索

目次

- 病院機能評価を終えて / 道下 由利子 看護部長
- みずの木ちえぶくろ / 心理技術科
- 下関精神科学術講演会 / 三根 秀哉 薬剤部長
- 美豆の希とうふ 全種類復活 / 福祉サービスかじり
- コンプライアンス研修 / 蛭木 伸一 事務部長
- 行事報告 / 作業療法科
- つなげようスタッフのわ

病院機能評価を終えて

平成 31 年 2 月 7 日・8 日の両日、下関病院は 4 回目の病院機能評価を受審いたしました。

5 年という長い時間があつたにもかかわらず、直前まで青息吐息の状況でした。その振り返りも含め、今回は病院機能評価受審の意味を再確認したいと思います。

病院機能評価とは「病院の質改善活動を支援するツール」です。全国の病院を対象に、組織全体の運営管理及び提供される医療について、機構が中立的、科学的、専門的見地から評価を行うツールなのです。自分達が行っている医療が良質なもののなのか、良質な医療とはどういうことをいうのか、患者中心の医療なのかを第三者評価を通して明確にすることで、病院としての反省や自信にもつながり次への課題が見えてきます。正しいことは継続し、足りないところは修正・追加していかなければなりません。全職種が **患者中心の質の高い医療** を目指さなければ病院の質も上がっては来ません。その点からみると今回は、チーム医療としての関わりに反省させられるべきところが多々見受けられました。

5 年後は、今回の反省も活かし次の世代が頑張らなければなりません。下関病院が地域、利用者・職員にとって魅力ある病院として発展すべく共に頑張っていきましょう！！

最後になりましたが、無事受審が終了いたしましたことに感謝いたします。有難うございました。

看護部長 道下 由利子

参考

今回の病院機能評価は「3rdG:Ver2.0」で審査されました

このバージョンでは
以下のような特徴があります

■評価項目の改訂

「理念・基本方針」「質改善活動の取り組み実績」「ガバナンス」をポイントに「評価の視点」「評価の要素」を中心に強化する。

■評価方法の強化

組織横断的な質改善活動を確認する為に、訪問病棟及び確認症例をサーベイヤーが指定する方法を導入する。

■認定取得後の関与

最終の審査結果報告書でC評価がある病院を対象として、認定取得後3年目に従来より実施する「期中の確認」のほか、「改善審査」を導入する。

以上3点です（精神科病院）。また評価項目の主な変更点として、以下の中項目が変更・新設されました。

全種類共通

1.1.6

新：臨床における倫理的課題について継続的に取り組んでいる
旧：臨床における倫理的課題について病院の方針を決定している

1.5.3

新：業務の質改善に継続的に取り組んでいる
旧：医療サービスの質改善に継続的に取り組んでいる

4.1.5

新：文書管理に関する方針を明確にし組織として管理する仕組みがある
旧：文書を一元的に管理する仕組みがある

基本理念

全人的な医療の実践

基本方針

- 癒しの芸術（生物学的－心理学的－社会的アプローチ）を大切にします。
- 地域社会に開かれた精神医療と福祉サービスを提供します。
- 患者さんの社会復帰と社会参加をご家族とともに援助します。
- 職員の資質向上に取り組み、患者さん本位の医療を常時提供します。

下関精神科学術講演会「抗精神病薬の受容体プロフィールと副作用」

20年前ですが、先生の論文を読んで感慨深く、それ以来ファンになりました。著作も何冊か勉強し、メールもさせていただき今回ようやく長嶺敬彦先生を、下関精神科学術講演会にお呼びすることが出来ました。講演は抗精神病薬についてで、内容は難しかったですが、非常にわかりやすく解説していただきました。

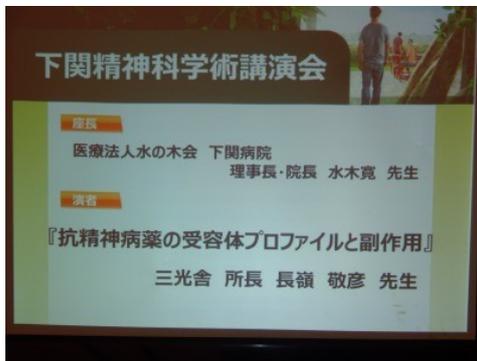
特に印象に残ったのが、On-Target副作用（主たる薬理作用による副作用→運動障害、高プロラクチン血症→特に高プロラクチンは、無月経、骨粗鬆症等以外に認知機能低下をまねくことを示唆されました）これらは用量とドパミン受容体への作用様式、体内分布で対処すると。Off-Target副作用、D2受容体以外への作用で、代謝障害→受容体プロフィールで予測が可能で、予防には薬剤選択が有効であるとのことでした。できれば、至適最小用量で治療することが大事であるとのことでした。

講義が大変面白く集中して聞き入ったので、一時間があったという間に終わっていました。今後もアドバイスをいただけたということ。また、次回の講演の約束もいただきましたので、水の木会の職員のみなさん現場で役に立つ話も多いので、楽しみにしてください。

薬剤部長 三根 秀哉



三光舎 所長 長嶺 敬彦 先生



コンプライアンス研修「ハラスメント防止のために～理解を深めた快適な職場環境～」

株式会社セイエル 顧客支援室 川岡久朗氏

平成30年12月11日、株式会社セイエル 顧客支援室の川岡久朗氏をお招きし、「ハラスメント防止のために～理解を深めた快適な職場環境～」と題し、役職者を対象としたコンプライアンス研修を行いました。

ここ最近、新聞やテレビ等を含め巷で「〇〇ハラスメント」という言葉が頻りに飛び交う時代となりましたが、当法人もこれらを他山の石とすべくより良い職場環境づくりの一環として開催されたものです。

今回の研修を通して、例えばパワハラとは紙一重といえる「業務上の適正な範囲」での必要な指示や注意・指導とパワハラとの違いや、その微妙な境界線は一体どこなのかといった基本的な考え方を分かりやすくご教授いただきました。

また、個々人だけの問題で終わらせず、組織として体制整備もしっかりと取り組んでいくことの重要性も強く感じた次第です。まずは、自分の言動からスタートしようと思いますが、ハラスメント防止という観点にとどまらず、基本にあるのは信頼関係であり、より良いコミュニケーションをとることが最も大切であると改めて認識されました。

事務部長 蜷木 伸一



新企画

みずの木の

ちえぶくろ

今回は、心理技術科から

どんな木になるかな？



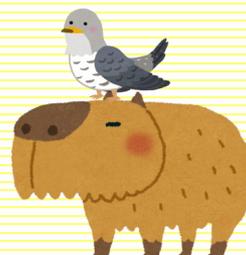
第1回目を担当させて頂くことになりました。テーマは、今話題になっている「働く人のメンタルヘルス」です。数年前からストレスチェック制度が始まるなど、メンタルヘルスへの関心は高まってきてはいますが、まだ十分な支援を受けることが難しいのが現状です。そのため、やはり「自分の健康は自分で守る」という姿勢を持つことは今後必要になってくるでしょう。

そうした中、私がおススメするのは「**こころの耳**」というサイトです。ここでは、職場のストレスチェックを行うことができ、しかも無料です。その他にもこのサイトには、ストレスと向き合うための役立つ情報が集められていますので、一度閲覧してみてくださいはいかかでしょうか？

あと余談ですが、ごく平凡な日々を送る手がかりとして「**カピバラカ**」という言葉があるようです。もしご興味があれば検索してみてください。

ストレス社会を健康的に乗り切りましょう。

(心理技術科 中本 大介)



おしらせ

みずき
美豆の希とうふ

全種類復活！！

濃い甘きぬ
230円

宮城県産の大粒大豆で甘みのあるミヤギシロメ大豆からできた豆乳と、沖縄美ら海の海水から作られたにがりのみを使用して作った、大豆の風味と甘みを感じられる絹のような口当たりの豆腐です。

仙台おぼろ
230円

天然にがり2種類を加えてしっかり混ぜ合わせて（「寄せ」という、技術のいる工程です）出来上がります。
「濃い甘きぬ」よりあっさりとした、それでいて大豆を感じられる豆腐です。

仙台おぼろ
豆乳仕立
240円

先程の仙台おぼろに濃度の違うミヤギシロメ豆乳をかけて湯煎することで出来上がります。
仙台おぼろよりまろやかな香りと味わいを楽しめます。

さしみゆば
400円

衝撃度No.1!! リピート率の高い、かじくり自慢の逸品です。
そのまま食べてもよし、わさび醤油やだし醤油でも美味しくいただけます。

全て利用者さんと職員が一丸となって、愛情をこめて手作りの豆腐です。ぜひ一度ご賞味くださいませ。

ブログも見てね(^^)♪

福祉サービス かじくり

営業時間・・・(月～金) 10:00～17:00 ※祝日除く
※仙台おぼろ・豆乳仕立・さしみゆば・・・(火) 15:00～(金) 15:00

福祉サービスかじくりブログ



行事報告

■クリスマス会

平成 30 年 12 月 20 日にクリスマス会を実施しました。今回は、外部からギターの弾き語りをしてくださる「みよし屋さん」をお招きしました。

懐メロから季節柄の曲を演奏していただいて、普段とは違う内容に皆様とても喜ばれていました。

また、今回も託児所の子どもたちに演技を依頼し、参加していただきました。可愛らしい子供たちの演技に、にこやかな表情をされる方も多い印象を受けました。

皆様が楽しみにされている冬の行事なので、今後も継続して開催していきたいと思えます。

(作業療法士 田原 暁仁)



■冬祭り（院内初詣）

病院行事の一つである冬祭りですが、昨年度まで行っていた“餅つき”に代わり、今年度は“初詣”を開催しました。1 月 10・11 日限定で、当院 4 階ホールへ模擬的な神棚や鳥居を配置し、150 名以上の方が参拝にいられました。初の試みであり改善点は多々感じられましたが、参拝された方からは喜びの声が多く寄せられ、盛況のうちに幕を閉じることが出来ました。2019 年も様々な催しを企画していきますので、よろしくお願い致します。

(作業療法士 岩崎 僚太)



■バスケットゴール設置

平成 31 年 1 月 15 日にバスケットゴールが当院の 4 F ホールに届きました。組み立て式ではありますが、強度は高く専用パッドもあるため、安全性は保たれていると思います。

数年前より患者さんの意見箱や生の意見として、「バスケットボールがしたい」「バスケットゴールは設置しないのですか？」などの声を度々頂いておりました。病棟の高齢化率も進んでいるため、全般的に利用可能なレクリエーション的要素の高いバスケットボール活動の普及にも努めていきたいと思えます。

事故のないように皆様と一緒に楽しみながら、汗を流していきたいと思っております。

(作業療法士 田名橋 佳伸)



連載 第28回 スタッフでつなげる、趣味のはなし。

つなげよう！スタッフのわ

今回は女子回復期病棟 徳田 亜紀 さんです。

さっそくですが、私の好きなこと・・・
飛行機を見ること・・・空を見ること・・・。

そう言えば、入社面接で、あなたの将来の夢は何ですか？と聞かれ「空になる事です！」って、真顔で答えたこともありました(笑) こんな私を受け入れてくれた下関病院に感謝！出会えた周りの方々に感謝！これからも頑張ります！

次回は 事務部 総務課長 大原 佳世 さんです。



編集後記

平成 31 年がスタートしてすぐに、生まれて初めてインフルエンザにかかってしまいました。流行は収まってきたようですが油断することなく、対策をしっかりとって万全の体調で新年度を迎えましょう。

(広報委員 領野 亜希子)